

日 時：平成24年8月3日（金）14：00～17：00			会 場：地盤工学会地階A会議室		
委員長 荒瀬 義則	○	幹事長 楡井 一昭	○	幹 事 橋 伸也	○
幹 事 仲山 貴司	○	委 員 土屋 光弘	○	委 員 山木 正彦	○
委 員 福村 一成	○	委 員 小川 鉄平	×	委 員 和田 健一	○
委 員 森口 周二	×	委 員 杉本 映湖	○	委 員 中井 宏	○
委 員 小川 和也	○	委 員 森 淳子	○	委 員 渡邊 康司	○
ワザパー 李 圭太	○	ワザパー 清木 隆文	×	ワザパー 川井 康右	○
事務局 永田 満枝	○	事務局 内藤 千愛	○		

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……(別紙-1)
 - ・和田が指名された。
2. 前回議事録(6/1)の確認……(別紙-2)
 - ・承認された。
3. 前回事業部会(6/1)報告……(別紙-3)
 - ・楡井幹事長より報告があった。
 - ・「新企画：子供向けの本」は、総務部で企画した「ドクター・モグ」が学会HPに掲載されている。出版については、出版企画委員会で今後検討する。
 - ・「落石対策工の設計法と計算例」の出版について、本のサイズ、価格についての意見が報告された。
4. 理事会(6/13・6/20・7/27)報告……(別紙-4)
 - ・荒瀬委員長より報告があった。

6/13の理事会について

 - ・平成24年度学会運営方針(末岡新会長挨拶)に沿って、地盤工学会中長期ビジョン2009年度報告書(P.31)を踏まえた出版企画の運営を進めることが確認された。

6/20の理事会について

 - ・「落石対策工の設計法と計算例」の出版趣意書が承認可決されたことが報告された。価格、発行部数については、今後、編集委員会の意見を聴き、出版企画委員会で決定することが確認された。

7/27の理事会について

 - ・学会組織が7部制に移行することが承認され、新たに出版部を設けることが報告された。
5. 事業部関係収支報告……(別紙-5)
 - ・永田事務局より4月～6月の販売実績、在庫について、説明があった。
 - ・4月、5月の単行本の販売収入は過去数年の最低水準であったが、6月に発刊した「グラウンドアンカー設計・施工基準」等が売れて販売収入が急増した。
 - ・「グラウンドアンカー設計・施工基準」や「2011年東日本大震災の教訓と提言(第二次)」は講習会テキストとして販売した効果大きい。「土の締固め」は11月に講習会の計画があり、売上が期待できる。
6. 各編集委員会および出版作業進捗状況、講習会開催報告……(別紙-6)(添付資料-1)
 - ・編集委員会担当委員および永田事務局から出版作業の進捗状況について説明があった。
 - ・「地盤改良の調査・設計から施工まで」は年度内出版の予定で進んでいるが、著作物の引用転載許諾の方法を決定し、許諾を得る必要がある。

著作物の引用転載許諾について

- ・新刊本は、著作と電子出版について、一括して許諾を得る方向で検討する。電子出版の取扱いについては丸善の意見を聴き、必要に応じて弁護士に相談して、許諾願の案を作成し、メール審議とする。
- ・学会のHPに転載許諾の方法・書式を掲載して利用できるようにするのが望ましい。

7. その他

平成23年度在庫について……(添付資料-2)

- ・3月末時点の在庫数と廃棄予定書籍について、永田事務局から説明があった。
- ・廃棄リストの書籍は丸善からの返品であり、販売対象の商品として問題があっても、損傷は少ない(表紙の日焼け、カバーのへこみ等)ものが多いことから、有効利用する方向で継続して検討する。
- ・委員長が廃棄予定書籍の状況を確認し、次回の委員会で審議する。

川井の式について……(別紙-7)

- ・川井オブザーバーから、初版部数推定式の構成について再度説明を受けた。

各編集委員会名簿……(追加資料)

- ・「役立つ地盤リスクの知識とその対応・・・」、「ジオテクノート」および「杭のトラブルとその対策(改訂版)」の編集委員名簿が確定したので、理事会に報告する。

《審議事項》

1. 新企画出版計画書について……(別紙-8)

「河川構造物の調査・設計から施工まで」(仮称)の出版企画計画書について

- ・準備委員会の李オブザーバーから出版計画書(案)について、説明があった。
- ・編集委員会の委員は、準備委員会で9月第1週までに検討し、9月28日の理事会に諮ることになった。
- ・女性委員の登用を検討いただく。
- ・実務シリーズの番号は「32」でよいと思われるが、事務局が再確認する。

「新しい設計法に対応したー平成25年度版 土と基礎の設計計算演習」

- ・遅れていたが、8月2日に第1回編集準備委員会が開催された。
- ・平成25年3月を目途に一次原稿を完成させ、平成25年8月脱稿を目途とするスケジュールが確認された。
- ・いつ発行された版かわかるように、“平成25年度版・・・”とタイトルを変更した。
- ・A4サイズで編集することとした(既刊本はB5サイズ)。

「落石対策Q&A」

- ・出版計画書提出した段階で、委員会は開催されていない。
- ・平成26年4月の出版を計画している。
- ・現場に持出しやすいようにしたいとの意見があり、A5版での編集を計画している。
- ・計画書の予定価格5,000円は高めの設定であるが、編集委員会の意見を踏まえ、出版時に本委員会で審議することとする。

2. 改訂本について……(別紙-9)

「建設計画と地形・地質」の改訂について

- ・前編集委員会の委員長、幹事に、改訂について事務局から打診する。
- ・ライブラリーは新企画がないことから、後継本として類似のテーマで新規に企画するのが現実的であるとの意見があった。

「根切り工事と地下水」の改訂について

- ・前編集委員会の幹事に、改訂について担当の杉本委員から打診する。
- ・現場シリーズの企画は終了していること、類似の入門シリーズでカバーしていることを考慮して、継続検討する。

本年度の増刷・改訂等の「見直し評価」について

- ・橋幹事が在庫を考慮して本年度の見直し対象書籍を抽出し、次回委員会で見直し評価の分担を検討する。

3. 刊行物販売促進案について……(別紙-10)

- ・仲山幹事、杉本委員、永田事務局から、既刊書籍の販売促進案について、提案があった。
- ・「セットでお得」の書籍の組合せは、ショッピングカートでの運用(改修業者の提案)を考慮して、次回委員会で審議する。
- ・丸善と組んだキャンペーンは、要望を丸善に伝え、案を検討する。
- ・会誌への「既刊書籍の紹介」と「セットでお得」の併記案、「新刊本の紹介」案は、WGで準備を進める。

4. その他

- ・次回委員会開催日：平成24年10月3日(水) 14:00~17:00 地盤工学会地階B会議室

以上